



青木 虹光さん

明和県央高校水泳部。寺尾中在学時から活躍を続ける水泳選手。2022年世界ジュニア選手権3位入賞。2023年インターハイ優勝。パリオリンピック出場を目指す



工藤 環奈さん

ビックカメラ女子ソフトボール高崎所属。2023年JDリーグでは最多安打を記録し、首位打者・ベストナイン・MVPに輝く。日本代表としても活躍中



櫻井 つぐみさん

育英大学女子レスリング部。2023年世界選手権で優勝し、同大会3連覇を達成。その後のアジア大会でも優勝を果たす。パリオリンピックの出場が内定している



清水 綾乃さん

倉賀野中出身のプロテニスプレーヤー。2018年日本選手権シングルス優勝。ウィンブルドンなど四大大会にも出場。2023年高崎国際オープンでダブルス準優勝



富岡 賢治市長

世界につながるスポーツ環境を本市に整えたいと考えている。塚沢小時代の少年野球では、4番サードを務めた経験も



輝く明日に向かって

—高崎から世界へ—



新年の第1号となる今回は、高崎を拠点に活動し、世界で活躍するスポーツ選手にお集まりいただき、それぞれの新年の意気込みを伺います。

2023年、活躍が目立った本市の女性アスリート

市長 今回は、本市を拠点に活動し、世界で活躍する女性アスリートの皆さんにお集まりいただきました。まずは清水さん、昨年の高崎国際オープンテニスでは大変お疲れさまでした。私はちょうど清水さんが勝利した試合を見ることができました。ダブルスで準優勝されるなど、素晴らしい活躍でしたね。

清水 どうもありがとうございます。

市長 高崎にはかつて、清水善造というテニスプレーヤーがいました。ウィンブルドンでの紳士的なプレーが称賛されて、教科書にも載るほど有名な選手だったんです。そのような日本テニス界の草分けとなった素晴らしい選手が生まれ育った箕郷地域に近い浜川町に「清水善造メモリアルテニスコート」を造りました。高崎国際オープンでは、約50社から協賛をいただいで2週連続

で開催できたことで、約40か国の選手がエントリーするなど大変盛り上がった大会になりましたね。地元から出場した清水さんの活躍もあり、あの会場で大会を開催することができて大変良かったと思っています。清水さんは、ツアーでたくさんの方に出場されていますが、地元にはどれくらい滞在しているのですか。

清水 1年のうち半分ほどは海外の試合に出場していて、帰国しても国内の大会に出場しているの、地元にはいられるのはわずかな期間なんです。

市長 国際オープンでは、海外の選手が梨など地元の果物をたくさん食べていますが、カレーライスを食べている選手が多かったのも印象的でした。

清水 私も海外の大会に出場して感じますが、やはり日本のお米がおいしいからだと思います。それと、ハラダのラスクがとても人気でした。

市長 それはうれしいですね。今回の大会

では多くの人に清水選手を知ってもらえて良かったと思っています。これからも頑張ってくださいね。

続いて、明和県央高校の青木さんは寺尾中学校出身ですが、水泳でジュニアオリンピックやインターハイですつと優秀な記録を出してきたんですね。800メートルや1500メートルといった長い距離を泳ぐのが専門とのことですが、長距離は疲れるんじゃないですか。

青木 はい。後半はきつくなりますが、気合いで頑張っています。前半から積極的に泳いでそのまま最後まで泳ぎきることを理想としているので、そういう泳ぎができるように心がけて練習しています。

市長 大会の時などは地元や学校の仲間から応援がありますか。

青木 はい。LINEなどでもメッセージをたくさんもらえるのでうれしいです。

市長 そうですか。仲間からの応援は励みになりますね。学業とも両立してお忙しいですが、頑張ってください。

続いて、ビックカメラ女子ソフトボール高崎の工藤さんです。工藤さんは今年、最高殊勲選手や首位打者、最多安打、ベストナインなども勝ち取って、野球の大会翔平選手のような活躍でした。今、女子ソフトボールは高崎と愛知が盛んです。何といってもスポーツは応援が力になります。今はアウェーの試合にも、市内の皆さんが応援に行ってくれていますか、いかがですか。

工藤 はい。以前よりもアウェーゲームの応援に来てもらえるようになりました。も

ちろん、ホームゲームでもたくさんの人に応援していただいていたありがたいです。

市長 工藤さんは青森県のご出身で、高校は岩手県の花巻東高校に進学されたそうですね。高崎での生活はいかがですか。

工藤 市民の皆さんが親切なのと、食べ物がおいしいです。パスタが一番気に入っています。

市長 高崎はパスタの街としても頑張っているの、うれしいです。ソフトボールの選手が食べに来てくれると喜んでいて飲食店の人も多いんですよ。ソフトボールは、パリオリンピックでは残念ながら正式種目になっていませんが、工藤さんには、ぜひ次のロサンゼルス大会を目指してほしいです。

工藤 はい。頑張ります。

市長 高崎では、アジアやアフリカ諸国のソフトボールファンを増やすために、6大陸対抗のU・15女子ソフトボール大会を開催しました。特にタンザニアチームは元気が良く、大会の人気チームになりました。これからもアフリカ諸国などと協力しながら、ソフトボールが正式種目として続いていくように盛り上げていきたいですね。

続いて、育英大学女子レスリング部の櫻井さんです。櫻井さんは既にパリオリンピックの出場権をお持ちですが、何とんでも世界選手権の三連覇やアジア大会の活躍は素晴らしいですね。何と高校生の時に高知県から12時間かけて育英大学まで練習に来ていたそうですね。

櫻井 はい。いろいろな大学の練習に参加

したのですが、自分が行きたいと思ったのが育英大学で、週末に夜行バスで練習に通った時期もありました。

市長 高崎での生活はいかがですか。

櫻井 風が冷たくて高知より寒く感じますが、住みやすくていい場所だと思います。

市長 オリンピックに向けて気を緩められない日々が続くと思いますが、日頃どういう風にリラックスしているんですか。

櫻井 私はご飯が好きなので、おいしいお店に行ったり大好きな歌手の曲を聴いたりしてリラックスすることが多いです。試合直前でも音楽を聴いている選手もいます。私は試合前はあまり聴かないですね。

市長 レスリングはファンが増えてきていますね。私も魅力的なスポーツだなと思っています。

櫻井 ありがとうございます。

新シーズンの飛躍に向けて

市長 それでは、最後になりますが、新シーズンに向けて、皆さんの目標を教えてください。

清水 私は、まずは年間ツアーを回ってランキングを上げ、グラッドスラムの舞台に戻って勝てるようにしたいです。

市長 予選を勝ち上がるのは本当に大変な競技だと思いますが、期待していますよ。櫻井さんは、やはりオリンピックですか。

櫻井 はい。8月のオリンピックで金メダルを取りたいです。

市長 それまでにけがをしないように気を付けてください。工藤さんはいかがですか。

同 ありがとうございます。

対談の様子が市のYouTube公式チャンネルで見られます

